

# 宇工高同窓会々報

## 会員の皆様へ

同窓会長

岡田 義治



同窓会々員の皆様には、健康やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。  
昨年は、宇工高創立90周年を迎え、その記念の式典をはじめ諸行事を無事終了しました。今回の90周年では、会場が狭く（80周年は宇都宮市文化会館）、式典の参加人数も制限があったため、同窓会の役員はじめ会員の皆様にも開催通知を出せず、失礼致しました。特にご高齢会員の皆様には、新校舎を見て頂けない事が残念でなりません。

同窓会は現在「旧宇工高跡地に記念碑を建設すること」に取組んでいます。跡地は二分され、北側の一条中学校と南側の特別支援学級が予定されています。その南側（支援学級）の敷地で、東側道路・西原小学校に面して、間口10m、奥行き5mの敷地に建設されます。平成28（2016）年度の開校に向けて建設準備を進めています。

ところで、同窓会では周年ごとに「名簿の刊行」を行ってきましたが、同窓会事務局に最新の名簿（1冊）を備えてあります。

また「新たな同窓会の役割を指して」をテーマとして活動を進めて行く所存です。今後皆様方には何かとお世話になりますが、同窓会に対し、忌憚のないご意見をお待ちしています。



## あいさつ

校長

矢古宇 好道



同窓会の皆様には、日頃より母校繁栄の為お力添えを賜り感謝申し上げます。また、在校生へ熱い応援誠にありがとうございます。さらに、本校創立90周年を迎え、さる10月25日記念式典が盛大に挙行できましたこと、御礼申し上げます。

さて、科学技術校の使命を持ち雀宮へ移転し、3年を終了するところであり、今までの宇工高の発展充実期から、新しい宇工高の創設期を迎えるべく歴史が動きました。科学技術校として生徒に最先端

発行所  
宇都宮市雀宮町52番地  
電話 (028)678-6500  
宇都宮工業高校  
同窓会事務局

の機器に触れさせ、先端的な科学技術や工業技術に対応できる資質と意欲を育てる教育実践を行う先進的な学校へと移り変わっています。ご存じのとおり施設設備を見ましても、日本でも類を見ないほどの充実したものであり、日本の科学技術高校であります。  
本校の使命ですが、生徒の育成はもちろん、県内工業関係高等学校の中央校として、施設設備の共用、技術講習会開催、指導法の開発、カリキュラム開発、研修・セミナー等を行い、県内の工業教育発展に寄与すること、さらに、大学、研究機関、企業等との共同研究、調査研究、技術講習会開催、そして、小・中学校、地域社会などの連携を図ること、総合教育センターの工業教育関係研修などとの連携を図ること、等々様々な使命を持ってまいります。さらに、新しい学びのスタイルは4系7学科11コースとし、「ものづくり」、「環境」、「継続」教育の3つを柱として教育を押し進めてまいります。  
今後、宇工高の果たす役割は、着実に県内の工業教育の充実、発展をリードして行くことにあります。同窓の皆様には、尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 事務局より

### 創立90周年記念事業への支援活動報告

平成24年7月から岡田義治同窓会長が創立90周年記念事業実行委員長の任に着かれました。平成25年10月25日に開催された同記念式典までに4回に渡り会議を開き、学校側と連携をとりながら入念な準備を行って頂きました。  
事業支援として平成25年4月17日の創立記念式典において岡田同窓会長より5百万円と記念品としてDVD「宇工の記録」を千四百枚学校側に贈呈して頂きました。



さらに新聞広告を下野新聞社より10月25日の記念式典当日に掲載しました。  
今後も母校への後援を行いますので、会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

## WRO2013に参加して

生産システム研究部

保護者 半田弘長

平成25年11月15日から17日、ジャカルタで自律型ロボットの国際大会WRO (World Robot Olympiad) が開催されました。世界30の国と地域から約400チームが参加し、日本からは生産システム研究部の2チームを含め、17チームが出場しました。この競技は、市販のロボット教材を用いて自分達でデザイン・プログラミングし競うもので、創造性と問題解決力を育成することを目的に行われています。



課題をクリアし、ポイントと時間を競うカテゴリーとテーマに沿ってデザインしたロボットをプレゼンテーションするカテゴリーがあり、宇工からは1チームずつが出場しました。

日本国内では常に優勝を争う生徒達も、世界の技術・文化の違いを実感したと思います。今回の大会で得た貴重な経験を活かして今後の活躍に期待します。

最後に熱心にご指導くださいました先生方には感謝いたします。

## 少林寺拳法大会に参加して

顧問 高館 一幸

一 少林寺拳法とは

少林寺拳法は、宗道臣先生が開祖で、戦時中に満州で学んだ中国武術(北少林寺義和門拳)などを日本に帰国後に少林寺拳法として創始しました。戦後日本に帰国した宗道臣は、物心ともに荒廃した日本を目の当たりにして、「これではいけない、なんとかしなければ」と考えました。しかし、話だけでは誰も聞き入れる人などいないので少林寺拳法を通じた、人作りをはじめたのです。

少林寺拳法は、相手の事を倒すのが目的ではなく、活かして行く、これを「不殺活人」と言います。道場では、拳法の練習をするだけでなく、挨拶をするの一言うまでもなく、靴をそろえたり、服装を正したり、練習後は清掃をするなど「却下顕彰」が励行されています。

ます。拳法の修行を行い、自分を守れる強さを身につけると共に、困っている人がいれば助ける「半ばは己の幸せを、半ばは他人の幸せを」という開祖の精神を受け継いでいます。

愛する人や家族を守るには、力がないと守る事ができないので「力愛不二」の精神で少林寺拳法の技術を身につけます。



## 二 同好会設立

宇都宮工業高等学校には、少林寺拳法はなかったのですが、空手同好会の先生に、一緒に活動させてくださいとお願いしたところ、快諾していただき

平成25年より、空手少林寺拳法同好会として活動できるようになりました。宇都宮工業高等学校90周年の節目の年に同好会として活動できるようになり、OBとしても、うれしく思います。

現在はまだ同好会としての

活動ですが、部活動昇格を目指して頑張っていきたいと考えています。



## 三 少林寺拳法大会に参加して

私たちが少林寺拳法同好会は本格的に活動を始めたのが、24年度の後期からという比較的新しい同好会となります。それまでは人数が少なく、練習をしようにもできない状態でした。しかし後期になり新しい部員が増えたことにより、ようやく本格的に活動を開始することが出来るようになりました。

練習は短い時間に集中して行いました。そのおかげか春の大会では関東大会に行くことが出来ました。しかし、そこでの結果は散々なものでした。上位入賞にはほど遠く、県外との力の差を感しました。一生懸命練習してきたつもりではありましたがまだまだ練習量

が不足していることを痛感しました。そして今回、平成25年12月15日に東京武道館で行われた第16回関東高等学校少林寺拳法選抜大会に出場できるようになった時、前回の大会の悔しい思いをバネにして、また前回の経験を活かして全力で挑みました。残念ながら今回も上位入賞を果たす事は出来ませんが前回よりも順位を上げることができました。今後も練習を重ね、少林寺拳法の教えである「半ばは己の幸せを、半ばは他人の幸せを」を実践していきたいと考えています。

## 陸上競技部関東大会出場

顧問 齋藤 雄也

陸上競技部は6月14日から17日までの4日間、関東高校総体に出場しました。5月の県予選では松井航(機3B)が400mハードルで自身初となる56秒台で優勝し、県チャンピオンとして関東大会出場を決定しました。また、団体では4×100mリレー、4×400mリレーにおいてともにチームベストを大きく更新し、それぞれ県4位、3位で関東大会出場を決定しました。前年度は両種目とも7位に終わってあと二歩のところ関東大会出場を逃していたため、その雪辱を果た

することができて喜びもひとしおでした。

関東大会は埼玉県熊谷市で開催されました。大会開催地に前日から入り、同じように他県の予選を勝ち抜いてきた高校の精鋭たちが練習しているのを見て、大会へ気持ちを引き締め、会場のグラウンドの感覚を十分に刻みました。大会が始まり、自分たちが今までの練習で培ってきたものを発揮しようとして競技に向かいました。4×100mR、4×400mRではそれぞれ自己ベストに近い記録は出たものの、一歩及ばず敗退、400mハードルでも他県に圧倒され準決勝に駒を進めることができませんでした。そのときは一時的に落胆しましたが、まだ懸命に闘っている同県の仲間たちの応援をしたり、次に生かしてゆけるよう反省し、これからの選手生活につながるよう取り組みました。

### 全国定時制通信制 サッカー大会に参加して

顧問 猪瀬和明

本年度は「県大会連覇全国大会出場」を目標に新たに1年生メンバーを6人迎えいれ13名で夜遅くまで練習をしてきました。

6月に行われた栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会では、宇都宮商業高校に3対1で勝利し、続く決勝戦では学悠館高校に2対1の辛勝ながら、県大会6年連続7度目の優勝を果たし、全国大会へ駒を進めることが出来ました。

8月に静岡市で行われた全国高等学校定時制通信制サッカー大会では、熊本県湧心館高校と対戦し、多田出の先制点をきっかけに12得点を挙げ快勝、2回戦では東京都第五商業高校と対戦し、前半に先制点を許し、その後も優位に試合を進められ2対6で敗れてしまいました。

3年前の3位にはあと二歩届きませんでした。今年度は1名の選手が栃木県高等学校体育連盟の優秀選手に選ばれました。応援してくださいました生徒・先生・保護者ならびに同窓会の皆様、ありがとうございました。



ありがとうございました。

平成25年度 大会成績

○第52回栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会

1回戦 宇工高 3対1 宇商

決勝 宇工高 2対1 学悠館高

(定)

栃木県大会

6年連続7回目の優勝

○第23回 全国高等学校定時制通信制サッカー大会

1回戦 宇工高 2対0 湧心館高

2回戦 宇工高 2対6 第五商業高

(東京都)

全国大会ベスト16

◎栃木県高等学校体育連盟優秀選手

工業技術科3年A組

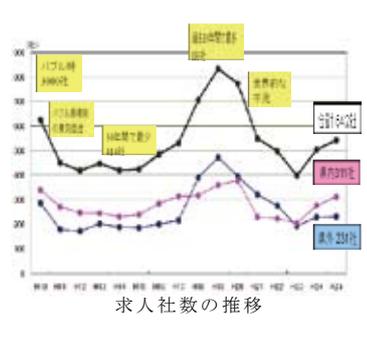
羽賀 良介

### 平成二十五年度の進路

進路指導部長 伊東 英彦

#### 一 はじめに

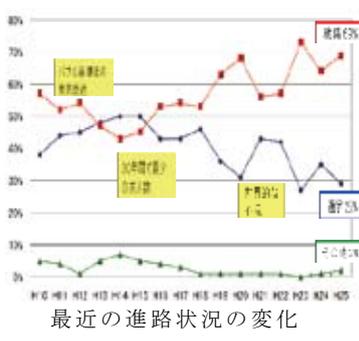
科学技術高校第一期生となる今年の3年生は、新しい教育課程において、それぞれの科・コースで専門的な知識・技術を学んできました。第一期卒業生ということもあり、就職先や進学先として求人数等の進路状況についての注目度が高い学年となりました。



#### 二 就職

就職に関しては、科学技術高校の特色である「科・コース」で学んだ事を活かせる仕事を希望する生徒が昨年までと比べて多くなりました。例えば、機械科・機械技術コースでは機械産業関連会社に7割が就職、同科・機械エネルギーコースでは自動車産業関連会社に6割が就職ということで、コースに

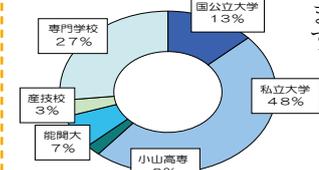
特化した就職先になっています。他の科・コースにおいてもこの傾向は現れています。今年度の求人数数は、542社(県311社、県外231社)でした。昨年より40社程度増加し、特に建設関連会社の求人が増えています。



#### 三 進学

進学に関しては、大学に55名、大学校・専門学校等35名の合計90名の進学が決定しています。国公立大学では、難関の筑波大学をはじめ、宇都宮大学6名など、合計12名が合格しました。これも科学技術高校としての取り組みの成果と考えています。

進学の内訳



平成24年度収支決算報告

平成25年度予算(案)

(1) 一般会計

(1) 一般会計

収入金 3,836,745円  
 支出金 2,576,861円  
 残 金 1,259,884円  
 自 平成24年4月1日  
 至 平成25年3月31日

収入金 4,709,884円  
 支出金 4,709,884円  
 残 金 0円  
 自 平成25年4月1日  
 至 平成26年3月31日

■収入の部 (単位:円)

| 科 目   | 予算額       | 決算額       | 増 減     | 備 考   |
|-------|-----------|-----------|---------|---|
| 繰越金   | 536,533   | 536,533   | 0       |   |
| 永久会員費 | 3,340,000 | 3,300,000 | △40,000 | 全10,000×317人=3,170,000<br>定10,000×13人=130,000 |
| 雑収入   | 0         | 212       | 212     | 利子  |
| 計     | 3,876,533 | 3,836,745 | △39,788 |   |

■収入の部 (単位:円)

| 科 目   | 24年度予算額   | 25年度予算額   | 増 減     | 備 考   |
|-------|-----------|-----------|---------|---|
| 繰越金   | 536,533   | 1,259,884 | 723,351 |   |
| 永久会員費 | 3,340,000 | 3,450,000 | 110,000 | 金10,000×315人=3,150,000<br>金10,000×30人=300,000 |
| 雑収入   | 0         | 0         | 0       | 一般会計利子  |
| 計     | 3,876,533 | 4,709,884 | 833,351 |   |

■支出の部

| 科 目      | 予算額       | 決算額       | 増 減        | 備 考                       |
|----------|-----------|-----------|------------|---------------------------|
| 会議費      | 600,000   | 555,025   | △44,975    | 総会・理事会、資料印刷代              |
| 事務局運営費   | 300,000   | 205,998   | △94,002    | 名簿管理費、通信費、一般備品            |
| 渉外費      | 300,000   | 141,070   | △158,930   | 母校歓迎会等、寸志等                |
| 事業費      | 1,300,000 | 1,026,618 | △273,382   | 卒業記念品、同窓会報、会長賞、奨励金、部活動補助等 |
| 教育活動後援費  | 500,000   | 500,000   | 0          | H24年度教育活動後援費              |
| 慶祝費      | 200,000   | 95,020    | △104,980   |                           |
| 同窓会HP管理費 | 200,000   | 53,130    | △146,870   | HP更新料、サーバー費               |
| 予備費      | 476,533   | 0         | △476,533   |                           |
| 計        | 3,876,533 | 2,576,861 | △1,299,672 |                           |

■支出の部

| 科 目      | 24年度予算額   | 25年度予算額   | 増 減      | 備 考                             |
|----------|-----------|-----------|----------|---------------------------------|
| 会議費      | 600,000   | 600,000   | 0        | 総会・理事会、資料印刷代                    |
| 事務局運営費   | 300,000   | 300,000   | 0        | 名簿管理費、通信費、一般備品                  |
| 渉外費      | 300,000   | 300,000   | 0        | 母校歓迎会等、寸志等                      |
| 事業費      | 1,300,000 | 1,500,000 | 200,000  | 卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞、奨励金、部活動全国大会等補助 |
| 教育活動後援費  | 500,000   | 300,000   | △200,000 | H24年度教育活動後援費                    |
| 慶祝費      | 200,000   | 200,000   | 0        |                                 |
| 同窓会HP管理費 | 200,000   | 200,000   | 0        |                                 |
| 母校映像記録費  | 476,533   | 1,309,884 | 833,351  |                                 |
| 計        | 3,876,533 | 4,709,884 | 833,351  |                                 |

(2) その他

(2) その他

①基金 (単位:円)

|                |                            |                    |                       |
|----------------|----------------------------|--------------------|-----------------------|
| 基金 (90周年準備金含む) | 101,337,089<br>(5,000,000) |                    |                       |
|                | 栃木銀行<br>22,606,857         | 足利銀行<br>58,730,232 | 日光杉並木基金<br>20,000,000 |

①基金 (単位:円)

|                |                            |                    |                       |
|----------------|----------------------------|--------------------|-----------------------|
| 基金 (90周年準備金含む) | 101,337,089<br>(5,000,000) |                    |                       |
|                | 栃木銀行<br>22,606,857         | 足利銀行<br>58,730,232 | 日光杉並木基金<br>20,000,000 |

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成25年5月16日

会計監査

同窓会定期総会報告

平成25年度総会は、平成25年6月8日(土)、ホテルニューイタヤに於いて常任理事会と共に開催されました。平成24年度決算報告及び平成25年度予算案が掲載して有りますのでご覧下さい。



議題である90周年記念事業の後援、役員改選、旧学校敷地への記念碑建立、会則などをご審議頂きました。平成25年10月25日に開催される創立90周年記念式典への支援と進捗状況が報告されました。総会後、平成24年秋に叙勲

されました小林久夫様・平成25年度春に叙勲されました金田貞夫様を迎え、祝賀会と懇親会を行いました。

同窓会事務局の動向

電気科の粕谷正人先生が那須清峰高校に異動されました。

環境設備科の甫坂茂樹先生と建築デザイン科の糸川勝巳先生が御定年でしたが、引き続き再任用としてご指導頂きました。4月には電子機械科に半田春彦先生、環境土木科に禧久裕成先生、建築デザイン科に石下将司先生、環境設備科に小坂任明先生が赴任されました。宇工出身の教職員は28名になりました。

同窓会長賞・奨励賞

同窓会長賞として電子機械科半田旭君に、同窓会長奨励賞として生産システム研究部定時制サッカー部、軟式野球部に授与致しました。

平成25年度役員

|     |      |      |     |      |     |     |     |     |
|-----|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 会長  | 治男文夫 | 男造一久 | 薫之明 | 好藏一夫 | 男誠雄 | 宏道男 | 男隆長 | 雄   |
| 副会長 | 義繁忠  | 秀恭   | 林弘智 | 倭秀一  | 健富  | 和成  | 光   | 好政辰 |
| 顧問  | 田口藤  | 井津   | 井根  | 田林   | 橋成  | 田部  | 瀬藤  | 塚島  |
| 監査  | 岡嶋湯  | 齊今   | 梅藤  | 宇和   | 大根  | 小吉  | 福阿  | 猪伊  |
| 顧問  | 矢野   | 古和   | 野和  | 亀和   | 柿和  | 小渡  |     |     |